

『地域の宝物』に関する市民アンケート 調査結果 概要報告

I 市民アンケート調査結果 1-1

I-1	調査実施概要	1-1
I-2	回答者属性概要	1-2
I-3	調査分析結果	
	1. 安曇野らしい風景とその構成要素&くらしや文化を反映し受け継がれているもの	1-3
	2. 宝物の継承の重要度	1-4
	3. 宝物への興味・関心の程度と関心のある分野	1-5
	4. くらしのなかの祭事との関わり・地域の祭り・団体の活動への参加	1-7
	5. 今後の担い手育成	1-9
	6. 今後の行政の施策	1-10
	7. 課題別今後の対応	1-11
	8. 情報の受発信	1-13
	9. 歴史や文化に関わる活動への今後の関わり	1-14

II 中学生アンケート調査結果 1-15

II-1	調査実施概要・回答者属性概要	1-15
II-2	調査分析結果	
	1. 自分にとっての宝・心象風景・市の魅力	1-16
	2. 安曇野の未来に残したいもの	1-17

	3. 地域文化(祭り・方言等)との関わり	1-18
	4. 歴史・文化関連の学びや体験の実態	1-19
	5. 将来の定住意識/宝物の継承への意識	1-20

III 中学生の保護者アンケート調査結果 1-21

III-1	調査実施概要・回答者属性概要	1-21
III-2	調査分析結果	
	1. 安曇野らしい風景とその構成要素 & くらしや文化を反映し受け継がれているもの	1-22
	2. 祭事との関わり	1-23
	3. 子どもの学びとの関わり	1-24
	4. 博物館等の体験講座への関心	1-25

IV 文化財所有者・管理関係者のアンケート調査結果

IV-1	調査実施概要・回答者属性概要	1-26
IV-2	調査分析結果	
	1. 保存の現状と対策・公開状況	1-27
	2. 保存に関する課題と今後	1-28
	3. 公開・活用に関する課題と今後	1-29
	4. 今後必要な取り組み(支援措置等)	1-30

I. 市民アンケート調査結果

I-1 調査実施概要

(1) 市民向け (18歳以上)

○18歳以上の市民を対象とし、無作為抽出のうえ、郵送で紙の調査票を2,000通発送。WEB回答も併用。

○一般市民が認識する「安曇野らしい風景」「地域の宝物」の内容やその認識・関わりの程度、将来必要な取り組みへの意向等を把握を目的に実施。

○地域の宝物を未来に受け継ぐのための市民向けの「アクション(取り組み)」を見出す基礎資料とする。

(2) 職員向け

○庁内メールにより、約800名の職員にWEB回答用フォームのURLを送付。

○(1) 市民と同じ調査内容により、安曇野市役所職員を対象に、地域の宝に関する関わりの程度や将来意識等を把握。

○市民との意識の相違点を中心に分析し、庁内での取り組み推進や連携具体化の基礎資料とする。

「地域の宝物」に関する市民アンケート調査

質問項目群	質問概要 (1-3ページ以降の表題番号と対応)
A 回答者属性	性別/年代/居住地/幼少期居住地/居住年数
B あなたの考える「地域の宝」	1. 安曇野らしい風景とその構成要素 & くらしや文化を反映し受け継がれているもの くらしのなかの祭事との関わり(4へ統合)
C 宝物の継承についての意識・	2. 宝物継承の重要度 3. 興味・関心の程度と関心のある分野
D 参加・関わりの実態	4. お祭りや活動団体へ参加
E 今後の取り組み・課題への対応の方向性	5. 今後の担い手育成(どの世代が何をすべきか) 6. 今後の行政の施策 7. 課題別今後の対応 ①地域の宝物に相当する建物や樹木の破棄の動き ②今後の地域の宝物の活かし方
F 情報受発信・自らの関わり方	8. 情報の受発信 9. 自らの関わり・体験学習への参加意向

なお、市職員の調査結果に関しては、市民対象の調査結果との間に相違があった設問に限定し、**【比較】市職員**の表示とあわせて示しています。

I-2 回答者属性概要

(1) 市民（18歳以上） 計569件の回答が得られた（回収率28.45%）。

■**年齢・性別・居住地区**:回答者の**平均年齢は62歳**。性別・居住地域は概ね実際の人口構成と一致。

■**小学生時代に住んでいた場所**:**小学生時代に市内に居住していた人4割**←→**市外に居住していた人6割**。

性別や年齢により偏りが見られる。

■**居住歴・居住年数**:市内出身者のうち4割がUターン経験者。多くの回答者が20年以上市内に居住していると回答。

問A4	あなたが小学生時代に住んでいた場所を教えてください。 ※択一回答	性別		年齢								
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	男性	女性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1	現在と同じ地区	144	25.3	33.8%	19.8%	81.0%	28.6%	31.9%	25.3%	28.6%	15.9%	14.8%
2	安曇野市内の別の地区・地域	100	17.6	17.7%	17.0%	4.8%	26.5%	15.3%	11.6%	14.3%	20.6%	25.9%
3	長野県内	213	37.4	28.7%	45.0%	4.8%	28.6%	33.3%	47.4%	37.8%	41.3%	40.7%
4	長野県外	101	17.8	19.4%	17.6%	9.5%	16.3%	19.4%	15.8%	19.3%	20.6%	16.0%
5	その他	0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答・無効	6	1.1	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	2.5%
	合計	569		237	318	21	49	72	95	119	126	81

問A5	あなたの安曇野市内での居住歴を教えてください。 ※択一回答	問A6		安曇野市内での居住年数の合計を教えてください。			
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順		
1	生まれも育ちも安曇野市(合併前を含む)	139	24.4	1	1年未満	5	0.9
2	生まれも育ちも安曇野市だが、一時期他地域に居住した経験がある(Uターン)	98	17.2	2	1~4年	25	4.4
3	県内の他の市町村から移住してきた(1ターン)	212	37.3	3	5~9年	36	6.3
4	県外から移住してきた(1ターン)	98	17.2	4	10~14年	42	7.4
5	事情による一時的な居住で、将来的には転出予定がある(転勤やご家庭の都合など)	7	1.2	5	15~19年	32	5.6
	無回答・無効	15	2.6	6	20年以上	427	75.0
	合計	569			無回答・無効	2	0.4
					合計	569	

(2) 職員 計232件の回答が得られた（回収率約29%）。

■**年齢**:回答者の**平均年齢は46歳**。

■**小学生時代に住んでいた場所**:**小学生時代に市内に居住していた人は7割**←→**市外に居住していた人は3割**。

■**その他**:市役所職員という属性上、回答者全員が就労者である。

I-3 調査分析結果

1. 安曇野らしい風景とその構成要素 & くらしや文化を反映し受け継がれているもの

■安曇野らしい風景:代表的な回答は 北アルプスの山々と田園の風景。水田、川など水にまつわる風景も多数。

■安曇野らしい風景の構成要素：農地や山岳、河川等の環境や祭り、道祖神等を受け継ぐべきものとして多くの人が認識。

田・畑等の農地を挙げる人は6割いるが、これらを『くらしや文化を反映しているもの』として答える人は2割程度。

→日頃見ている風景と文化（の継承）との間に深い関係を見出している人は限定的

問B1 安曇野らしい『風景』のイメージ

<代表的な例>

- ・北アルプスが見える田園風景
- ・常念岳、有明山を望む田園風景
- ・水面に映る北アルプスの風景
- ・おいしい水、おいしい空気、自然豊かな風景
- ・里山の風景
- ・水田と屋敷林の風景
- ・わさび田と湧水、川のある風景
- ・四季が感じられる風景
- ・自然、緑豊かな風景
- ・道祖神ときれいな水がある風景

等

問B2 安曇野らしい『風景』の構成要素のうち、未来に伝え残したいもの

<分類>

- ・田、畑 **319人 (56.1%)** ← 田園風景、水田、りんご畑・・・
- ・山 234人 (41.1%) ← 北アルプス、常念岳、東山・・・
- ・川、水 224人 (39.4%) ← 河川、湧水、拾ヶ堰・・・
- ・緑、樹木 134人 (23.6%) ← 屋敷林、光城山の桜、森林・・・
- ・自然、景色 117人 (20.6%) ← 澄んだ空気、里山、四季・・・
- ・わさび 54人 (9.5%) ← わさび田、わさび農場・・・
- ・道祖神 43人 (7.6%) ← 道祖神
- ・建築物 35人 (6.2%) ← 古民家、美術館、白壁の土蔵・・・
- ・祭、行事、伝統 18人 (3.2%) ← 地域の祭り、郷土料理、伝統技術・・・
- ・社寺 13人 (2.3%) ← 地域の神社、仏閣・・・

等

問B3	お住まいの周辺一帯で、『安曇野のくらしや文化を反映し、受け継がれている大切なもの』と聞いて思いつくものはありますか。	※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	小学生の頃の居住地			
					現在と同じ	市内別地区	県内	県外
1	ある		321	56.4	66.7%	52.0%	54.8%	52.0%
2	ない		47	8.3	6.3%	9.0%	10.1%	6.9%
3	わからない		183	32.2	25.0%	33.0%	32.3%	40.2%
	無回答・無効		18	3.2	2.1%	6.0%	2.8%	1.0%
	合計		569		144	100	217	102

問B3 安曇野のくらしや文化を反映し、受け継がれている大切なもの

<分類>

- ・祭り 134人 (41.7%)
- ・道祖神 73人 (22.7%)
- ・神社 68人 (21.2%)
- ・**田園風景、わさび田 61人 (19.0%)**
- ・三九郎 38人 (11.8%)
- ・拾ヶ堰 15人 (4.7%)
- ・天蚕 10人 (3.1%)
- ・屋敷林 7人 (2.2%)
- ・湧水 7人 (2.2%) 等

2. 宝物継承の重要度

○地域の宝物の継承を重要（まあまあ重要も含む）と考える人は回答者の81%（市職員87%）を占める。

○その理由としては、「暮らす空間の価値と魅力を高める」が最も多く37.1%。ただし、属性により差異がある。

・空間の価値や魅力→ 若年層、Uターン者および市外からの移住者 が多い

・地域の人と人をつなぐ→ 高齢層、市内の生まれ育ち が多い

→双方で感じている価値をお互いに理解し、共有できるような取り組みが今後重要

問C1	問Bでお聞きした「地域の宝物」を未来の安曇野に継承していくことについて、どのように思いますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	居住歴					【比較】市職員		合計87.2%
				市内の生まれ育ち	Uターン	県内から移住	県外から移住	一時的な居住	回答数	回答率(%) ※選択肢順	
1	重要	278	48.9	48.2%	56.1%	44.8%	53.1%	42.9%	93	44.1%	}
2	まあまあ重要	185	32.5	37.4%	26.5%	35.4%	28.6%	14.3%	91	43.1%	
3	あまり重要ではない	17	3.0	2.2%	4.1%	2.4%	3.1%	14.3%	7	3.3%	
4	重要ではない	6	1.1	1.4%	0.0%	1.4%	1.0%	0.0%	1	0.5%	
5	どちらともいえない	31	5.4	4.3%	6.1%	4.7%	7.1%	0.0%	11	5.2%	
6	わからない	38	6.7	5.0%	4.1%	9.0%	3.1%	28.6%	8	3.8%	
	無回答・無効	14	2.5	1.4%	3.1%	2.4%	4.1%	0.0%	0	0.0%	
	合計	569		139	98	212	98	7	211		

問C2	問C1で「1重要・2まあまあ重要」とお答えした方にお聞きます。その理由として近いもの。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	年齢								居住歴				
				20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	市内の生まれ育ち	Uターン	県内から移住	県外から移住	一時的な居住	
3	暮らす空間の魅力と価値を高める要素だから	172	37.1	41.2%	53.8%	45.2%	38.2%	35.9%	30.4%	27.4%	23.5%	34.6%	40.0%	57.5%	25.0%	
1	地域の人と人をつなぐものだから	98	21.2	17.6%	12.8%	17.7%	25.0%	17.5%	23.5%	29.0%	28.6%	18.5%	22.4%	10.0%	25.0%	
2	育った土地への愛着を高めるものだから	91	19.7	35.3%	17.9%	16.1%	14.5%	25.2%	20.6%	16.1%	32.8%	25.9%	12.4%	11.3%	25.0%	
4	先人たちの知恵や苦勞を伝えるものだから	71	15.3	5.9%	7.7%	11.3%	14.5%	13.6%	22.5%	19.4%	11.8%	16.0%	16.5%	12.5%	25.0%	
5	その他	15	3.2	0.0%	5.1%	6.5%	6.6%	3.9%	0.0%	0.0%	0.8%	4.9%	4.7%	2.5%	0.0%	
	無回答・無効	16	3.5	0.0%	2.6%	3.2%	1.3%	3.9%	2.9%	8.1%	2.5%	0.0%	4.1%	6.3%	0.0%	
	問C1で1～2の合計	463		17	39	62	76	103	102	62	119	81	170	80	4	

3. 宝物への興味・関心の程度と関心のある分野

- 地域の宝物に**興味関心のある方（まあまあ含め）は約73%**。興味・関心を持ち始めた時期は**30～50代が約半数**を占める。30代～50代で市外出身者の占める割合が高いことに起因している可能性が高い。
- その理由としては「**重要性を感じたから**」を挙げる人が**約半数**、きっかけとなる**場面や機会としては日々の生活や地域の活動を挙げる人が4割強**を占めている。

問C 4	問Bでお聞きした「地域の宝物」について、興味や関心がありますか？ ※択一回答	【比較】市職員				
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順	
1	とてもある	合計73.3%	127	22.3	32	15.2
2	まあまあある		290	51.0	124	58.8
3	あまりない	合計12.6%	57	10.0	21	10.0
4	ない		15	2.6	4	1.9
5	どちらともいえない	31	5.4	23	10.9	
6	わからない	30	5.3	7	3.3	
	無回答	19	3.3	0	0.0	
	合計		569		211	

30-50代とする人が約半数。市職員で小中学生と回答する人の比率が高い。

問C 6 -①	問C5等の分野に興味や関心をもった時期をお聞きます。 ※択一回答	【比較】市職員				小学生の頃の居住地			
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順	現在と 同じ	市内 別地区	県内	県外
1	小中学生	80	19.2	51	32.7	39.3%	25.7%	8.2%	5.0%
2	高校・大学	15	3.6	15	9.6	5.1%	4.3%	2.7%	2.5%
3	20代	36	8.6	25	16.0	9.4%	14.3%	8.2%	3.8%
4	30～50代	187	44.8	61	39.1	31.6%	31.4%	52.1%	63.8%
5	60代以上	80	19.2	4	2.6	12.0%	22.9%	23.3%	16.3%
	無回答	19	4.6	0	0.0	2.6%	1.4%	5.5%	8.8%
	問C4で1～2の 合計	417		156		117	70	146	80

問C 6 -②	問C5等の分野に興味や関心をもったきっかけ(場面・機会)をお聞きます。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		4	日々の生活のなかで
3	地域の活動のなかで	83	19.9
	合計42.2%		
5	実物に接する機会のなかで	71	17.0
2	学びや体験・活動のなかで	67	16.1
1	家族との関わりのなかで(親・親族の影響等)	59	14.1
6	その他	8	1.9
	無回答・無効	36	8.6
	問C4で1～2の合計	417	

<日々の生活の例> ・通勤、通学中の風景から
・運転中の風景から ・散歩中の気づき 等

問C 6 -③	問C5等の分野に興味や関心をもったきっかけ(理由)をお聞きます。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		2	重要性を感じたから
1	面白みを感じたから	130	31.2
4	その他	30	7.2
3	達成感を感じたから	21	5.0
	無回答・無効	21	5.0
	問C4で1～2の合計	417	

3. 宝物への興味・関心の程度と関心のある分野

○興味・関心のある地域の宝物の種類 = 全体では自然環境、水路、祭り、景観地 の順

○興味関心をもつ分野は、生まれ・育ちで違いがみられる。

・市内の生まれ育ちの方：祭り、自然、道祖神の順

・県内外からの移住者：自然、景観地、堰 の順

○市内生まれの人では、「景観地」への興味順位が下がる。道祖神の回答比率が高め。

問C5	問C4で「1とてもある・2まあまあある」とお答えした方にお聞きます。次のうち、どれに関心がありますか？ ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	居住歴				
				市内の生まれ育ち	Uターン	県内から移住	県外から移住	一時的な居住
8	動植物・地形・地質・自然環境	257	61.6	② 57.7%	② 53.8%	① 65.8%	① 66.7%	100.0%
4	堰・水路	220	52.8	44.2%	① 55.1%	② 55.7%	③ 53.3%	100.0%
7	祭りや伝統行事	219	52.5	① 68.3%	43.6%	47.7%	49.3%	100.0%
3	道祖神	208	49.9	③ 50.0%	③ 47.4%	50.3%	52.0%	66.7%
9	生業や風土により形成された景観地	202	48.4	39.4%	46.2%	③ 51.7%	② 57.3%	100.0%
1	歴史的建造物	168	40.3	34.6%	46.2%	40.9%	41.3%	33.3%
2	遺跡・旧跡	129	30.9	25.0%	35.9%	33.6%	29.3%	33.3%
5	伝統的な生活・産業に根付く技能や技術	105	25.2	20.2%	26.9%	24.2%	30.7%	66.7%
6	美術工芸品	69	16.5	16.3%	16.7%	18.1%	14.7%	33.3%
10	その他	8	1.9	1.9%	2.6%	0.0%	5.3%	0.0%
	無回答	2	0.5	0.0%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%
	問C4で1～2の合計	417		104	78	149	75	3

●数字
居住歴の区分
ごとの順位

【比較】市職員

問C5	問C4で「1とてもある・2まあまあある」とお答えした方にお聞きます。次のうち、どれに関心がありますか？ ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
7	祭りや伝統行事	93	59.6
9	生業や風土により形成された景観地	83	53.2
4	堰・水路	81	51.9
8	動植物・地形・地質・自然環境	74	47.4
1	歴史的建造物	73	46.8
3	道祖神	68	43.6
2	遺跡・旧跡	59	37.8
5	伝統的な生活・産業に根付く技能や技術	58	37.2
6	美術工芸品	29	18.6
10	その他	2	1.3
	問C4で1～2の合計	156	

文化財保護法等により単体で指定等を受けることが多く、一般的に「文化財」として認識されやすい種類の宝物に対しての市民の関心や興味は低い傾向

4. 暮らしのなかの祭事との関わり・地域の祭り・団体の活動への参加

■自宅での季節の行事・催事 : 盆と正月に集中

■近年参加した祭り

- お船祭りと三九郎への回答が多い。仮にこれらが消失すると自治会や育成会の祭りくらいになり得る可能性。
- 『年末と正月の時期』が最も安曇野の暮らしのなかの祭事が息づいている時期であると推察できる結果。

問B 5	ここ2~3年の期間で、あなたのご自宅のなかでの季節の行事や催事として、何をしていますか？特別な飾り付けや、行事にちなんだ食事なども含めてお聞きます。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		9	大晦日(年越しそば、年取り魚、二年参り等)
1	正月(門松、しめ縄、お節等)	468	82.2
7	お盆(盆棚、迎え火・送り火等)	381	67.0
2	節分(豆まき、ヒイラギ、イワシの頭等)	347	61.0
8	冬至(ゆず湯、かぼちゃだんご等)	287	50.4
4	お彼岸(おはぎ、牡丹餅等)	270	47.5
3	ひな祭り(ひな人形、ひなあられ等)	190	33.4
5	端午の節句(武者人形、こいのぼり、菖蒲湯等)	137	24.1
6	七夕(笹飾り、短冊等)	101	17.8
11	特にない	33	5.8
10	その他	23	4.0
	無回答	5	0.9
	合計	569	

問D 1	コロナ禍前の時期(平成28~30年)及び令和5~6年の期間に、現在お住まいの周辺(問A3で回答された地区やその周辺)で『連年行われているお祭り』に参加されたことがありますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		1	ある
2	ない	256	45.0
	無回答	14	2.5
	合計	569	

問D 1-1	問D1で「1ある」を回答された方は、参加されたものを教えてください。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		1	神社の祭り(お船・山車曳きあり)
7	三九郎	139	46.5
9	自治会が主催する祭り	93	31.1
2	神社の祭り(お船・山車曳きなし)	88	29.4
10	育成会等主催の子ども向けの祭り	74	24.7
4	道祖神祭り	41	13.7
3	お寺やお堂の祭り	37	12.4
8	庚申等講の行事	22	7.4
11	その他	9	3.0
5	福俵	4	1.3
6	獅子舞	3	1.0
	無回答	2	0.7
	問D1で1の合計	299	

4. 暮らしのなかの祭事との関わり・地域の祭り・団体の活動への参加

○祭りには「祭りの観覧者として参加」が最も多く、次いで「役員として運営に関わる」。

60代以上の世代で、観覧者、役員、神事参列、運営補助などの複数の回答の数が多く、**中心になって関与している状況が明確**。

○歴史文化の継承や維持に関わる**活動への参加者は全体の約3割**。**そのうち8割が区の活動**。
公的な活動の比重が大きい傾向。

問D2	問D1で「1ある」を回答された方は、回答したお祭りご自身との具体的な関わりのうち、該当する主なケースを教えてください。 ※複数回答(3つまで)	年齢								居住地域					
		回答数	回答率(%) ※回答率順	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	豊科	穂高	三郷	堀金	明科
5	祭りの観覧者として参加	128	42.8	80.0%	42.1%	48.8%	40.0%	35.6%	41.6%	40.0%	59.7%	37.3%	37.3%	42.5%	25.0%
1	役員として準備から運営まで関わる	90	30.1	10.0%	15.8%	29.3%	22.0%	33.9%	35.1%	35.0%	36.4%	28.4%	23.5%	30.0%	28.6%
2	当日の神事や祭事に参列・参加	75	25.1	10.0%	15.8%	14.6%	18.0%	20.3%	33.8%	45.0%	28.6%	22.5%	17.6%	25.0%	39.3%
4	当日の運営の補助・手伝い(清掃・片付け等)	73	24.4	10.0%	5.3%	19.5%	16.0%	28.8%	31.2%	30.0%	22.1%	21.6%	25.5%	22.5%	39.3%
6	出店等を楽しむために参加	37	12.4	10.0%	26.3%	19.5%	14.0%	8.5%	7.8%	5.0%	15.6%	14.7%	5.9%	2.5%	14.3%
3	当日の演者・踊り手・担ぎ手等として参加	18	6.0	20.0%	5.3%	4.9%	8.0%	5.1%	6.5%	0.0%	10.4%	5.9%	3.9%	5.0%	0.0%
7	その他	12	4.0	0.0%	5.3%	4.9%	2.0%	1.7%	5.2%	7.5%	3.9%	2.9%	7.8%	5.0%	0.0%
	無回答・無効	6	2.0	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	3.4%	2.6%	0.0%	2.6%	2.0%	0.0%	2.5%	3.6%
	問D1で1の合計	299		10	19	41	50	59	77	40	77	102	51	40	28

問D3	安曇野市内で地域の歴史や文化の継承や維持に関わりのある団体(自治会、保存会、ボランティア団体等)の活動に参加したことはありますか？ ※択一回答	【比較】市職員			
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	よく参加している	35	6.2	16	7.6
2	時々参加している	111	19.5	57	27.0
3	あまり参加していない	95	16.7	51	24.2
4	参加していない	309	54.3	87	41.2
	無回答・無効	19	3.3	0	0.0
	合計	569		211	

市職員の方が参加比率がやや高(34%)

問D4	問D3で「1よく参加している・2時々参加している」と回答した方は、具体的な団体名や内容を教えてください。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		回答数	回答率(%) ※回答率順
1	区・常会の活動	117	80.1
2	祭り等行事の保存継承に取り組む組織の活動	40	27.4
4	任意のグループ活動	20	13.7
5	その他	8	5.5
3	NPO組織の活動	3	2.1
	無回答	1	0.7
	問D3で1～2の合計	146	

5. 今後の担い手育成

■今後の宝物継承の担い手：全体の約7割が『子供とその親世代(20-50代) がより重要』と回答。

■何をすべきか：

- ・子供とその親世代(20-50代) が「興味関心をもち、学び知る」取組みへの回答比率が高い。
- ・また、大人たちの世代が「形を変えて継承する工夫を見出す」ことの必要性を指摘する声も一定数ある。

問E1 安曇野市で令和3年に実施した市民意識調査では、市民の約3/4の方が地域の伝統や文化の継承には「担い手の育成」が重要と考えられています。

これから少子高齢化が一層進む中で10年先を考えたとき、地域の宝物を受け継ぐ担い手育成の取組みについて、お考えをお聞きます。市民の「どの世代が何をすればよい」と考えますか。

それぞれ、該当するもの1つに○をつけてください。

問E1-1	どの世代か？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	子どもたち(15歳以下)	184	32.3
2	高校生～大学生	65	11.4
3	20～50代	219	38.5
4	60～70代	55	9.7
5	80代以上	9	1.6
	無回答・無効	37	6.5
	合計	569	

問E1-2	何をすればよいか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
1	地域の宝物に興味・関心を持つ	123	21.6
3	地域の宝物を伝える・教える	108	19.0
2	地域の宝物を学ぶ・知る	97	17.0
5	形を変えて継承する方法を生み出す	94	16.5
4	地域の宝物の手入れや管理に関わる	68	12.0
6	その他	9	1.6
	無回答・無効	70	12.3
	合計	569	

【まとめ】

	市民	【比較】市職員
子供たちや親世代が興味関心をもつ	119(20.9%)	68(29.3%)
子供や学生が学ぶ・知る	73(12.8%)	57(24.6%)
大人が形を変えて継承する方法を生み出す	75(13.2%)	5(2.2%)
様々な世代が伝える・教える	107(18.8%)	21(9.1%)

○どの世代が×何をすればよいか の組み合わせで集計

- 1 子どもたち(15歳以下) が
- ・地域の宝物に興味・関心をもつ 60人 32.6%
 - ・地域の宝物を学ぶ・知る 55人 29.9%
 - ・地域の宝物を伝える・教える 35人 19.0%

- 2 高校生～大学生 が
- ・地域の宝物を学ぶ・知る 18人 27.7%
 - ・地域の宝物を伝える・教える 12人 18.5%
 - ・地域の宝物に興味・関心をもつ 11人 16.9%

- 3 20～50代 が
- ・形を変えて継承する方法を生み出す 54人 24.7%
 - ・地域の宝物に興味・関心をもつ 48人 21.9%
 - ・地域の宝物を伝える・教える 43人 19.6%

- 4 60～70代 が
- ・形を変えて継承する方法を生み出す 20人 36.4%
 - ・地域の宝物を伝える・教える 17人 30.9%
 - ・地域の宝物の手入れや管理に関わる 10人 18.2%

- 5 80代以上 が
- ・形を変えて継承する方法を生み出す 1人 11.1%
 - ・地域の宝物を伝える・教える 1人 11.1%
 - ・地域の宝物の手入れや管理に関わる 1人 11.1%

市職員では「子供たち」が38%で最多。子供や親世代が興味関心を持つことを重視し、継承は優先順位が低い。

6. 今後の行政の施策

■担い手育成に向けた行政の対応

- 市民の回答では「**地域の宝物の継承につながる小中学校での学習や体験への住民協力の機会の拡充**」が最も多く57%。(市職員では58%)
- 次いで市民活動の支援、協力者が増えるしくみづくりがそれぞれ4割弱を占める。

■地域の宝物継承のための今後の対応

- 担い手育成と併用で重要な施策として**水環境や里山環境の維持、少子高齢化対策、農業振興**が20%を超える回答で上位4つを占める。
- 市職員では「農業振興」を挙げる方の比率が高くなる。

問E 2	問E1-1,1-2で選んだ取り組みを進めるために、行政がなすべきこととしてお考えに近いもの。 ※複数回答(3つまで)	回答数	回答率(%) ※回答率順
		2	「地域の宝物」の継承につながる小中学校での学習や体験への住民協力の機会を広げる
3	「地域の宝物」の継承に取り組む市民活動等を支えるしくみを充実させる	223	39.2
4	「地域の宝物」の継承への協力者が増えるしくみをつくる	217	38.1
1	「地域の宝物」について、博物館等で市民が知る・学ぶ機会を増やす	138	24.3
6	「地域の宝物」を活かす取り組みを推進する新たな財源を確保する	110	19.3
5	市内の活動を支えるため関心のある方から寄付を募る	27	4.7
7	その他	22	3.9
	無回答・無効	35	6.2
	合計	569	

【比較】市職員

2位は「協力者が増えるしくみ」(31%)、3位「市民活動を支えるしくみ」(26%)と順位が入れ替わる。

問E 3	「地域の宝物」を100年後まで伝え残していくために、宝物そのものを維持したり担い手の育成等と併せて、どのような施策により力を入れていく必要があるとお考えですか？ ※複数回答(2つまで)	回答数	回答率(%) ※回答率順
		2	水環境の維持
3	里山環境の維持	169	29.7
7	少子高齢化対策	137	24.1
1	農業振興	136	23.9
8	地域学習の充実	91	16.0
4	観光振興	81	14.2
6	移住・定住促進	77	13.5
9	外部への発信力の強化	60	10.5
5	伝統産業の振興	33	5.8
10	博物館等による調査研究の充実	14	2.5
11	その他	11	1.9
	無回答・無効	42	7.4
	合計	569	

【比較】市職員

1位「水環境」(33%)、2位「農業振興」(27%)、3位「里山環境」(25%)、4位「少子高齢化対策」(23%)で、農業振興の順位が高い。

7. 課題別今後の対応① ～地域の宝物に相当する建物や樹木の破棄の動き～

- 古くからの建物や樹木の破棄の動きに対しては「個人の資産なのでやむを得ない」が**最も多く約30%(職員では約49%)**。
一方で「残す努力+極力残す努力」を求める声は合計すると**約52%に達する(職員では約38%)**。
- 「市内の生まれ育ち」「Uターン」の人は「やむを得ない」が多く、「県外から移住」の人は「極力残す努力をすべき」の回答が多い。
- 残すための措置としては「維持の方向性を話し合う」が84%ととくに多い。「20代以下」では「人を集める」回答も多い。

問E4	個人で所有されていて「地域の宝物」に相当するような建物や樹木等を、その維持の負担の大きさから、近年やむなく破棄される方も多い状況です。この状況についてどのように思いますか？	居住歴					【比較】市職員					
		※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	市内の生まれ育ち	Uターン	県内から移住	県外から移住	一時的な居住	回答数	回答率(%) ※選択肢順	
1	個人の資産なのでやむを得ない	172		30.2	34.5%	35.7%	29.7%	21.4%	14.3%	113		48.7
2	周辺への迷惑がある場合を除き、できるだけ残す努力をすべき	154		27.1	25.9%	30.6%	27.8%	24.5%	14.3%	53		22.8
3	安曇野の歴史や文化を伝える魅力や価値向上にも重要なので、極力残す努力をすべき	140		24.6	24.5%	24.5%	21.7%	34.7%	14.3%	38		16.4
4	わからない	75		13.2	9.4%	7.1%	17.0%	13.3%	57.1%	28		12.1
	無回答・無効	28		4.9	5.8%	2.0%	3.8%	6.1%	0.0%	0		0.0
	合計	569			139	98	212	98	7	232		

合計 51.7% (質問2+3)
合計 39.2% (市職員)

問E5	問E4で「2, 3」とお答えした方にお聞きます。残す努力のイメージとしてお考えに近いもの。	年齢									
		※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1	関係者が集まって維持の方向性を話し合う	247		84.0	69.2%	81.0%	76.3%	80.0%	80.6%	93.0%	90.5%
4	その他	24		8.2	0.0%	14.3%	18.4%	11.1%	6.5%	4.2%	4.8%
2	所有者が維持に携わる人を集める	13		4.4	23.1%	0.0%	2.6%	4.4%	8.1%	1.4%	2.4%
3	所有者が維持のためのお金を集める	8		2.7	7.7%	4.8%	2.6%	4.4%	1.6%	1.4%	2.4%
	無回答・無効	2		0.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%
	問E4で2～3の合計	294			13	21	38	45	62	71	42

7. 課題別今後の対応② ～今後の地域の宝物の活かし方～

- 将来的な宝物の増加や行催事継承への対策は、『**時代の変化に合わせた対応が重要**』とする声が半数前後を占める。
 ○地域の宝物を活かすうえで、それが**元来持つ価値の把握は全回答者数の約2/3（66%）が必要**と回答。
 その価値を踏まえて残すべきものと改めるべきものを見定めて活かすことを求める声が約45%。

問E 6-1	課題① 継承する「地域の宝物」が今後も増えていくことへの対応について ※択一回答			【比較】市職員	
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	新たな宝物も追加して発掘し、大切にしていくためのより一層の努力が必要	70	12.3	25	10.8
2	現在ある宝物や緊急性を要する宝物の継承を優先すべき	98	17.2	40	17.2
3	将来を見据え、時代の変化に合わせて対応できる工夫を検討していくべき	319	56.1	151	65.1
4	その他	10	1.8	2	0.9
5	わからない	50	8.8	14	6.0
	無回答・無効	22	3.9	0	0.0
	合計	569		232	

問E 6-2	課題② 伝統行事等の内容や手法の変化について ※択一回答			【比較】市職員	
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	伝統的な様式や内容を再確認し、できるだけ元に近い形で継承すべき	98	17.2	45	19.4
2	現状の維持を基本として継承すべき	80	14.1	20	8.6
3	行事等を続けていくことを重視すべきであり、形式の変化はやむを得ない	278	48.9	140	60.3
4	その他	22	3.9	13	5.6
5	わからない	65	11.4	14	6.0
	無回答・無効	26	4.6	0	0.0
	合計	569		232	

問E 6-3	課題③ 「地域の宝物」の活かし方について ※択一回答			【比較】市職員	
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	回答数	回答率(%) ※選択肢順
合計66.3%	1 「地域の宝物」が元来有する価値を把握したうえで、極力その価値を守りながら活かすべき	124	21.8	50	21.6
	2 「地域の宝物」が元来有する価値を把握したうえで、残すべきものと改めてよいものを整理すべき	253	44.5	123	53.0
	3 元来有する価値を把握する以上に、新たに利用する努力や活動を支えることを重視すべき	102	17.9	37	15.9
4	その他	11	1.9	2	0.9
5	わからない	58	10.2	20	8.6
	無回答・無効	26	4.6	0	0.0
	合計	569		232	

8. 情報の受発信

■情報の受信：安曇野市広報紙が約77%で最も多い。「20代以下」は「広報紙」は少ないが、「チラシ・ポスター」が多く、「30代」は「SNS」が多い。「70代以上」は「新聞・雑誌」も多い。

■情報量：「十分・どちらかといえば発信されている」の回答が約55%と半数を超過。同居の未成年が「いる」人は「十分・どちらかといえば発信されている」が約45%と少ない。

問F1	地域の歴史・文化や関連する体験学習、行事等に関する情報は、日頃どのような媒体を通じて得ていますか。 ※複数回答(3つまで)	回答数	回答率(%) ※回答率順	年齢							
				20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
1	安曇野市広報紙	436	76.6	38.1%	67.3%	73.6%	76.8%	81.5%	87.3%	72.8%	
2	自治会報や回覧板	309	54.3	28.6%	32.7%	55.6%	61.1%	57.1%	59.5%	51.9%	
7	新聞・雑誌	202	35.5	33.3%	10.2%	25.0%	27.4%	35.3%	48.4%	53.1%	
4	インターネット(HP等)	95	16.7	19.0%	22.4%	26.4%	17.9%	21.0%	12.7%	3.7%	
8	チラシ・ポスター	78	13.7	33.3%	12.2%	23.6%	12.6%	11.8%	11.1%	9.9%	
3	家族・友人からの紹介	62	10.9	19.0%	10.2%	13.9%	9.5%	8.4%	11.9%	8.6%	
5	SNS	52	9.1	19.0%	32.7%	12.5%	12.6%	6.7%	0.8%	2.5%	
10	特に得ていない	30	5.3	23.8%	10.2%	5.6%	4.2%	4.2%	0.8%	7.4%	
6	書籍	10	1.8	0.0%	0.0%	1.4%	1.1%	0.8%	3.2%	3.7%	
9	その他	9	1.6	0.0%	2.0%	5.6%	2.1%	0.0%	1.6%	0.0%	
	無回答・無効	10	1.8	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.7%	1.6%	3.7%	
	合計	569		21	49	72	95	119	126	81	

問F2	地域の歴史・文化やそれに関連する体験学習、行事等に関する市からの情報の発信量について、どのように思われますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	同居の未成年	
				いる	いない
1	十分発信されている	53	9.3	6.4%	10.4%
2	どちらかといえば発信されている	261	45.9	39.3%	48.1%
3	どちらかといえば発信されていない	73	12.8	12.9%	13.0%
4	あまり発信されていない	46	8.1	12.9%	6.6%
5	わからない	122	21.4	26.4%	19.6%
	無回答・無効	14	2.5	2.1%	2.4%
	合計	569		140	424

9. 歴史や文化に関わる活動への今後の関わり

■講座や体験機会等への参加意向

- ・「講座・見学」が約32%、次いで「イベント・催し」が約31%と多いが、年齢層により嗜好が異なる。

■今後、活動に関わる可能性

- ・「**ない・わからない**」が約61%を占める。(市職員では71%)

「ある」の回答は約35%で、地域活動を支える世代(40~70代)で多めの傾向。

- ・活動の候補としては、清掃、草刈り等文化財の保全が圧倒的に多い。(市職員では博物館等の活動への協力の回答が多い)

問F3	今後、あなたが参加したい、地域の歴史や文化に関係する講座や体験機会等がありますか？ ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	年齢							
				20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
3	「地域の宝物(実物)」を見て、知り学ぶ講座・見学	179	31.5	9.5%	6.1%	23.6%	36.8%	31.9%	40.5%	38.3%	
2	「地域の宝物」を活用したイベント・催し	176	30.9	42.9%	32.7%	34.7%	37.9%	24.4%	35.7%	17.3%	
4	展示物を見る(地域の宝物を解説する企画展)・解説等をきく	150	26.4	23.8%	20.4%	23.6%	25.3%	25.2%	33.3%	25.9%	
1	「地域の宝物」にちなんだ体験教室(発掘体験・維持補修の技能体験・創作活動等)	126	22.1	14.3%	36.7%	31.9%	30.5%	20.2%	16.7%	9.9%	
7	興味がない・特に参加するつもりはない	114	20.0	38.1%	26.5%	25.0%	20.0%	22.7%	11.1%	17.3%	
5	「地域の宝物」の継承を支える人材育成講座(市民サポーターの養成等)	51	9.0	0.0%	4.1%	11.1%	8.4%	8.4%	13.5%	7.4%	
6	その他	31	5.4	0.0%	6.1%	6.9%	4.2%	0.8%	7.9%	9.9%	
	無回答	36	6.3	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	6.7%	7.9%	17.3%	
	合計	569		21	49	72	95	119	126	81	

1位 2位 3位

- 50代以下：「イベント・催し」
- 30~50代：「体験教室」
- 50代以上：「講座・見学」
- 興味がないの回答は20-40代で相対的に多い傾向

問F4	歴史や文化を伝える活動のうち、今後、あなたが関わる事が可能と思うことはありますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	年齢							
				20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
1	ある	197	34.6	28.6%	26.5%	36.1%	41.1%	37.0%	36.5%	25.9%	
2	ない	122	21.4	23.8%	14.3%	15.3%	14.7%	14.3%	30.2%	35.8%	
3	わからない	227	39.9	47.6%	57.1%	45.8%	40.0%	47.1%	30.2%	29.6%	
	無回答・無効	23	4.0	0.0%	2.0%	2.8%	4.2%	1.7%	3.2%	8.6%	
	合計	569		21	49	72	95	119	126	81	

【比較】市職員 2ない 15.1% 3わからない 56.0% で合計は71%

問F4-1	問F4であると回答した方は関わる事が可能だと思う活動。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	【比較】市職員
				回答率(%) ※回答率順
2	清掃活動への参加	126	64.0	53.7
1	文化財等の保全(草刈等)	81	41.1	58.2
3	情報発信の協力(SNS等)	35	17.8	25.4
9	博物館等の活動への協力	28	14.2	29.9
6	昔話を語り伝える	23	11.7	6.0
10	その他	13	6.6	6.0
4	文化財等の寄贈	4	2.0	0.0
5	案内ガイド	4	2.0	10.4
7	民具等の制作指導	0	0.0	1.5
8	郷土芸能の指導	0	0.0	3.0
	無回答	3	1.5	0.0
	問F4で1の合計	197		

II. 中学生アンケート調査結果

II-1 調査実施概要・回答者属性概要

中学2年生アンケート

- 市内の中学校に通う中学2年生（約880名）を対象とし、学校を通し案内状を配布。記載のQRコードよりWEBによる回答。
- 中学生が考える「宝物」やお気に入りの場所を把握。祭りや方言との関わりや将来の定住意向も調査した。
- 受け継ぎ先である子ども達の意向を把握し、今後の「アクション(取り組み)」を見出す基礎資料とする。

『地域の宝物』に関する中学生アンケート調査

【中学生アンケート調査質問項目候補】

項目区分	質問内容
A 回答者属性	性別/居住地/幼少期居住地/居住期間/家族構成
B お気に入りの場所・宝	1. 自分にとっての宝・心象風景・市の魅力 2. 安曇野の未来に残したいもの
C 歴史・文化との関わり	3. 祭り等との関わり 4. 歴史・文化関連の学びや体験の実態 (学びで印象に残るもの/市内の博物館施設の利用経験 等)
D 将来意識・関心	5. 将来の定住意識/宝の継承への意識

■178件の回答が得られた（回収率約20%）。

■**居住地区**:三郷中1クラス、堀金中2クラス、明科中2クラスは授業中に回答していただいたため、回答が多い。

■**小学生時代に住んでいた場所**:最も長く**小学生時代に居住していた場所は「現在と同じ地区」が約83%。**

問A 2	あなたが現在住んでいる地域名を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	豊科	8	4.5
2	穂高	22	12.4
3	三郷	27	15.2
4	堀金	60	33.7
5	明科	61	34.3
	合計	178	

問A 3	あなたが小学生時代に住んでいた場所を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	現在と同じ地区	147	82.6
2	安曇野市内の別の地区・地域	23	12.9
3	長野県内	6	3.4
4	長野県外	2	1.1
5	その他	0	0.0
	合計	178	

Ⅱ-2 調査分析結果

1. 自分にとっての宝・心象風景・市の魅力

- 自分にとっての宝：家族や友達が4割、自然（7%）や風景（5%）の回答もある。
- 市内で一番心に残っている風景・体験：山に関する風景で6割、川や自然の風景が1割。
- 自慢できる安曇野の「魅力」：自然や景色が最多、次いで水、食べ物や特産品、山の景色と続く。

問B1 自分にとっての宝物をひとつあげてください

・家族	48人 (27.0%)
・友達	21人 (11.8%)
・自然（山、田、生物等）	13人 (7.3%)
・部活やスポーツの道具	10人 (5.6%)
・景色、風景	9人 (5.1%)
・川、水	9人 (5.1%)
・文化財等	8人 (4.5%)
・ゲーム機、PC、スマホ等	8人 (4.5%)
・ペット	8人 (4.5%)
・命	7人 (3.9%)

問B2 市内で一番心に残っている風景・体験

・山を見上げる風景	66人 (37.1%)
・山から見下ろす風景	39人 (21.9%)
・川、川でのアクティビティ	9人 (5.1%)
・花、樹木、動物	9人 (5.1%)
・田園風景	8人 (4.5%)
・祭り	7人 (3.9%)
・学校行事、部活等	6人 (3.4%)
・通学路の風景	5人 (2.8%)
・わさび田	4人 (2.2%)
・自然	3人 (1.7%)

等

等

問B3 国内外から訪れる人たちに自慢できる安曇野の「魅力」

○自然、景色関連（計115件）

・自然	64人 (36.0%)
・景色がよい	35人 (19.7%)
・田んぼ	7人 (3.9%)

○食べ物、特産関連（計70件）

・わさび	44人 (24.7%)
・りんご	7人 (3.9%)
・そば	6人 (3.4%)

○水関連（計102件）

・水がおいしい	43人 (24.2%)
・水、川がきれい	28人 (15.7%)
・湧き水	5人 (2.8%)

○山関連（計64件）

・山の景色	29人 (16.3%)
・常念岳	8人 (4.5%)
・山から見る景色	3人 (1.7%)

山から見下ろす風景が多いのは
明科中の長峰山登山が要因。

2. 安曇野の未来に残したいもの

○**思いつくものが「ある」は48%**（大人（市民18歳以上の調査）では56%）。

○具体的な内容のうち、**自然(景色・水・川を含む)が多数。祭りや行事は回答が少ない**（大人では「祭り」は42%）。大人の回答同様、自然と暮らしの関わりの象徴である水田や果樹園・畑等への回答は限定的。

問C 2	お住まいの周辺一帯で、『安曇野のくらしや文化を反映し、未来へ受けついでいく大切なもの』と聞いて思いつくものはありますか。	※択一回答	
		回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	ある	85	47.8
2	ない	36	20.2
3	わからない	57	32.0
合計		178	

大人と比較し、自然や水が多く、祭り、田畑は比率が低い

問C2 安曇野にとって大切で、未来へ残していきたいものの分類

○自然、景色（計46人）

- ・豊かな自然 30人（35.3%）
- ・景色 11人（12.9%）
- ・きれいな空気 5人（5.9%）

○川、水（計33人）

- ・水の豊かさ 25人（29.4%）
- ・きれいな川 5人（5.9%）
- ・拾ヶ堰 4人（4.7%）

○山（計14人）

- ・山の風景 14人（16.5%）

○わさび（計12人）

- ・わさび 8人（9.4%）
- ・わさび農場 4人（4.7%）

○緑、樹木（計11人）

- ・緑の豊かさ 5人（5.9%）
- ・天然記念物 2人（2.4%）
- ・花 2人（2.4%）

○人情（計10人）

- ・優しさ 4人（4.7%）

○社寺（計5人）

- ・穂高神社 2人（2.4%）

○祭・行事・伝統（計5人）

- ・地域のお祭り 3人（3.5%）

○田・畑（計5人）

- ・水田 5人（5.9%）

等

注) あるの回答者80人を母数にした場合の比率

<再掲>市民アンケート結果

『安曇野のくらしや文化を反映し、受け継がれている大切なもの』

- ・祭り 134人（41.7%）
- ・道祖神 73人（22.7%）
- ・神社 68人（21.2%）
- ・田園風景、わさび田 61人（19.0%）
- ・三九郎 38人（11.8%）
- ・拾ヶ堰 15人（4.7%）
- ・天蚕 10人（3.1%）
- ・屋敷林 7人（2.2%）
- ・湧水 7人（2.2%）

等

3. 地域文化(祭り・方言等)との関わり

■お祭りへの参加：8割が参加経験あり。三九郎(75%)、神社の祭り(お船・山車曳きあり)(50%)が多い。

※備考：調査対象の中学2年生は、2020年(コロナ開始年)に小学4年生。

■方言の認知度：知っているものが「ある」は1/4。「ない・わからない」は3/4。最も挙げられたのは語尾の「～だ」。

問C 1	現在お住まいの周辺(問A2で回答された地区やその周辺)で『連年行われているお祭り』に参加されたことがありますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%)
			※回答率順
1	ある	139	78.1
2	ない	39	21.9
合計		178	

問C 1-1	問C1で「1ある」を回答された方は、参加されたものを教えてください。 ※複数回答	回答数	回答率(%)
			※回答率順
7	三九郎	104	74.8
1	神社の祭り(お船・山車(だし)曳きあり)	69	49.6
2	神社の祭り(お船・山車(だし)曳きなし)	26	18.7
3	お寺やお堂の祭り	25	18.0
4	道祖神祭り	19	13.7
8	その他	16	11.5
6	獅子舞	4	2.9
5	福俵	0	0.0
問C1で1の合計		139	

- 「その他」の内容
- ・あやめ祭り 5人 (明科のみ)
 - ・納涼祭 4人 (堀金のみ)
 - ・花見会、夏祭り、花火大会、かかし祭り、しめ縄づくり、舞姫 各1人

問C 3	安曇野の方言で知っているものはありますか。 ※択一回答	回答数	回答率(%)
			※選択肢順
1	ある	45	25.3
2	ない	58	32.6
3	わからない	75	42.1
合計		178	

- 名詞
- ・ずく
 - ・おつくべ
 - ・まえで 等

- 動詞、形容詞、形容動詞
- ・くれる
 - ・(りんごが)ボケる
 - ・(鍵を)かう
 - ・(しょんべん)まる
 - ・こわい
 - ・みぐさい
 - ・飛んでいく

- 語尾、接続詞、副詞等
- ・～だ、～ただ
 - ・～だべ
 - ・～ずら
 - ・～かやあ
 - ・～しましよ
 - ・まあず
 - ・めた

等

等

4. 歴史・文化関連の学びや体験の実態

■総合的な学習で印象に残っていること：地域によって学習内容が異なる。「田畑等に関する学習」の回答はない。

■市内の博物館・美術館への来訪経験：授業以外の機会による来訪経験が「ある」は1/4。「ない」は3/4。

豊科近代美術館、豊科郷土博物館への来訪経験が多い。

問C4 総合的な学習の時間の中で、地域について学んだことで印象に残っていること（％は地域別）

○豊科・穂高地域

- ・わさび 6人 (20.0%)
- ・上原良司 4人 (13.3%)
- ・道祖神 3人 (10.0%)
- ・拾ヶ堰 3人 (10.0%)
- ・産業 2人 (6.7%)

○三郷地域

- ・自然、地形等 7人 (25.9%)
- ・道祖神 5人 (18.5%)
- ・貞享義民騒動 3人 (11.1%)
- ・拾ヶ堰 2人 (7.4%)

○堀金地域

- ・拾ヶ堰 34人 (56.7%)
- ・SDGs 6人 (10.0%)
- ・自然、地形等 5人 (8.3%)
- ・わさび 3人 (5.0%)

○明科地域

- ・平和学習、招魂社等 16人 (26.2%)
- ・自然、地形等 14人 (23.0%)
- ・わさび 7人 (11.5%)
- ・信州サーモン等 6人 (9.8%)
- ・蚕、天蚕 3人 (4.9%)

問C 5	市内の博物館・美術館等に学校の授業以外で行ったことはありますか。 ※択一回答	回答数		回答率(%)	
		回答数	回答率(%)	※選択肢順	※選択肢順
1	ある	44	24.7		
2	ない	134	75.3		
	合計	178			

○行ったことのある博物館・美術館の具体的な内容

- ・豊科近代美術館 25人
- ・豊科郷土博物館 10人
- ・田淵行男記念館 4人
- ・高橋節郎記念美術館、松本市美術館（市外）、安曇野ちひろ美術館（市外） 各3人

5. 将来の定住意識/宝物の継承への意識

■将来の居住意向：ぜひ暮らしたい、暮らしたい気持ちはあるが約64%。

■「地域の宝物」の継承：重要（まあまあ重要含む）は約79%（市民(18歳以上)では約81%）。

「地域の人と人をつなぐものだから」が理由のトップ（市民(18歳以上)では「暮らす空間の価値と魅力を高める」が最多）。

■参加したい活動：行事への参加（約53%）、授業での学習（約52%）が多い。課外・団体活動への参加意向は少ない。

関わりたいと思うものはないが14%。将来暮らしたくないの回答比率と同等。

問D 1	将来、大人になってから(進学・就職の後)も安曇野で暮らしたいですか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	ぜひ暮らしたい	25	14.0
2	暮らしたい気持ちはあるが、どうなるかわからない	89	50.0
3	暮らしたくない	25	14.0
4	想像がつかない・わからない	39	21.9
	合計	178	

問D 2	あなたは、「地域の宝物」を次世代に伝え、未来へ受けついでいくことについて、どのように思いますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	重要	97	54.5
2	まあまあ重要	43	24.2
3	あまり重要ではない	2	1.1
4	重要ではない	6	3.4
5	どちらともいえない	6	3.4
6	わからない	24	13.5
	合計	178	

問D 3	問D2で「1重要・2まあまあ重要」とお答えした方にお聞きします。その理由として近いもの。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
1	地域の人と人をつなぐものだから	57	40.7
2	育った土地への愛着を高めるものだから	30	21.4
3	暮らす地域の魅力と価値を高める要素だから	28	20.0
4	むかしの人たちの知恵や苦勞を伝えるものだから	20	14.3
5	その他	5	3.6
	問D2で1、2の合計	140	

問D 5	今後、あなたが安曇野市の歴史や文化に関して参加してみたい、関わってみたいと思う活動はありますか？ ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
4	地域の祭りや行事への参加	95	53.4
1	学校の授業で地域を学ぶ	92	51.7
2	博物館等での歴史や文化に関する調査や研究活動	40	22.5
9	関わりたいと思うものはない、またはできることはない	25	14.0
3	地域の成り立ちや昔の姿を探るような部活動や課外活動への参加	24	13.5
7	SNS等を活用した情報発信	22	12.4
6	地域の宝物を維持するための活動への参加や協力(地域の宝物の勉強会、お堂の周りのごみ拾い等)	20	11.2
5	地域の案内やガイドのお手伝い	9	5.1
8	その他	0	0.0
	合計	178	

Ⅲ. 中学生の保護者アンケート調査結果

Ⅲ-1 調査実施概要・回答者属性概要

中2保護者アンケート

○市内の中学校に通う中学2年生の保護者（約880名）を対象とし、学校を通し案内状を配布。記載のQRコードよりWEBによる回答。

○保護者が認識する「安曇野らしい風景」「地域の宝物」の内容や子どもの関わりやの程度、子どもたちの地域学習への意向等の把握を目的に実施。

○子どもたちの意思決定の面で重要な親（子育て世代）の意向を把握し、今後の「アクション(取り組み)」を見出す基礎資料とする。

『地域の宝物』と子どもたちの関わりについてのアンケート調査

【保護者アンケート調査質問項目候補】

項目区分	質問内容候補
A 回答者属性	性別/居住地/幼少期居住地/居住期間
B 「地域の宝」「安曇野の宝」	1. 安曇野らしい風景とその構成要素&くらしや文化を反映し受け継がれているもの
C 古くから残るもの・文化と子どもたちの関わり	2. 祭事との関わり 子どもの地域行事等への関わりやの程度/関心の程度/関わる中での印象や課題
D 子どもたちの地域学習との関わり・意識	3. 子どもたちの地域学習（子どもから学んだもの/地域学習の適齢期） 4. 博物館等の体験講座への関心

■95件の回答が得られた（回収率約11%）。

※市民アンケートと比べ回答者層に偏りが顕著であることを確認。

■性別・年齢:女性の回答が9割。年齢層は40代が中心。

■小学生時代に住んでいた場所:小学生時代に居住していた場所が市外が7割。居住年数が20年未満の人が7割を占める。

問A	あなたの性別を教えてください。	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	※択一回答 1 男性	9	9.5
2	2 女性	85	89.5
3	3 該当なし	1	1.1
	合計	95	

問A	あなたが小学生時代に住んでいた場所を教えてください。	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	1 現在と同じ地区	15	15.8
2	2 市内の別の地区・地域	13	13.7
3	3 県内	52	54.7
4	4 県外	15	15.8
5	5 その他	0	0.0
	合計	95	

問A	安曇野市内での居住年数の合計を教えてください。	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	1 1年未満	0	0.0
2	2 1~4年	2	2.1
3	3 5~9年	7	7.4
4	4 10~14年	27	28.4
5	5 15~19年	27	28.4
6	6 20年以上	32	33.7
	合計	95	

Ⅲ-2 調査分析結果

1. 安曇野らしい風景とその構成要素 & くらしや文化を反映し受け継がれているもの

■**安曇野らしい風景**：代表的な回答は、北アルプスの山々と田園の風景。水田、川など水にまつわる風景も多数。

■**安曇野らしい風景の構成要素**：田・畑等の農地を挙げる人は6割いる。これらを『くらしや文化を反映しているもの』として答える人は4割弱（市民アンケートの2割に比べると高い）。

問B1 安曇野らしい『風景』のイメージ

<代表的な例>

- ・北アルプスと田園風景
- ・常念岳と水田の風景
- ・田んぼに山々が映る風景
- ・山と川のある風景
- ・自然豊かな風景
- ・きれいな水や湧水の風景

等

問B2 安曇野らしい『風景』の構成要素のうち、未来に伝え残したいもの

<分類>

- ・田、畑 60人 (63.2%)
- ・山 45人 (47.4%)
- ・川、水 40人 (42.1%)
- ・自然、景色 26人 (27.4%)
- ・わさび 14人 (14.7%)
- ・道祖神 13人 (13.7%)
- ・緑、樹木 8人 (8.4%)
- ・建築物 7人 (7.4%) 等

問B3	お住まいの周辺一帯で、『安曇野のくらしや文化を反映し、受け継がれている大切なもの』ときいて思いつくものはありますか。	※択一回答	回答数	回答率(%)
				※選択肢順
1	ある		56	58.9
2	ない		4	4.2
3	わからない		35	36.8
合計			95	

問B3 安曇野のくらしや文化を反映し、受け継がれている大切なもの

<分類>

- ・田園風景、わさび田 21人 (37.5%)
- ・祭り 20人 (35.7%)
- ・道祖神 14人 (25.0%)
- ・神社 11人 (19.6%)
- ・拾ヶ堰、堰 9人 (16.1%)
- ・三九郎 5人 (8.9%)

等

2. 祭事との関わり

■保護者の祭事との関わり：関わっている（いた）が71%。関わった理由は「子どもへの付き添い」が81%。

地域の活動が祭りの周知・理解や継承に関わっている状況。一方、関わったことがない人の理由は「仕事や家事がいそがしい」が71%で圧倒的。次いで「人間関係」が21%。

■子どもの祭事との関わり：関わっている（いた）が72%。

問C1	お住まいの地域にある神社や公民館等で行う子どもたちの関わるお祭り等の運営(お船曳き、お囃子の演奏等を含む)にあなた自身が関わったことがありますか。 ※択一回答	回答数		回答率(%)	
				※選択肢順	
1	関わっている	11	11.6		
2	関わったことがある	56	58.9		
3	関わったことはない	28	29.5		
	合計	95			

問C2	問C1で「1関わっている・2関わったことがある」とお答えの方にお聞きします。関わったきっかけは何ですか。 ※複数回答	回答数		回答率(%)	
				※回答率順	
3	育成会・子供会の役員として(子どもの参加への付き添い等)	54	80.6		
5	子どもの参加希望があったから	20	29.9		
6	地域のならわしや決まりに沿うため	18	26.9		
1	祭りの運営・指揮担当として	5	7.5		
4	知り合いの誘いを受けて	4	6.0		
2	子どもたちへの指導者として	1	1.5		
7	その他	0	0.0		
	問C1で1、2の合計	67			

問C3	問C1で「3関わったことはない」とお答えの方にお聞きします。あなたが関わったことがない理由を教えてください。 ※複数回答	回答数		回答率(%)	
				※回答率順	
5	仕事や家事がいそがしい	20	71.4		
4	人間関係等がわずらわしい	6	21.4		
8	その他	5	17.9		
1	地域の情報が無い、知らない	3	10.7		
2	地区に住み始めて日が浅い	3	10.7		
3	関心がない	2	7.1		
7	運営団体(自治会等)に加入していない	2	7.1		
6	金銭的負担がかかる	1	3.6		
	問C1で3の合計	28			

問C4	お住まいの地域にある神社や公民館等のお祭りの運営(お船曳き、お囃子の演奏等を含む)にお子さんが関わったことがありますか ※択一回答	回答数		回答率(%)	
				※選択肢順	
1	関わっている	20	21.1		
2	以前関わっていた	48	50.5		
3	関わったことはない	27	28.4		
	合計	95			

3. 子どもの学びとの関わり

■子どもを通じて初めて知ったこと：「ある」が50%。知った内容は地域によって様々。

■地域の宝物を知る・学ぶ活動の年齢層：小学校中・高学年が妥当との回答が多い。

問D 1	地域の宝物や地域の特色に関してお子さんを通じて知ったこと(例えば授業で学んだ話をきいて初めて知ったこと)は何かありますか？ ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	
1	ある	47		49.5
2	ない	14		14.7
3	わからない	34		35.8
	合計	95		

とくに市外出身者に多い。

問D 2	お子さんと一緒に地域の宝物を知る・学ぶ活動をする場合、何歳ころが妥当と考えますか？ ※複数回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	
1	未就学児	13		13.7
2	小学校1-2年	40		42.1
3	小学校3-4年	60		63.2
4	小学校5-6年	55		57.9
5	中学生	28		29.5
6	その他	1		1.1
	合計	95		

■「お子さんを通じて初めて知ったこと」の具体的な内容

○豊科地域

- ・小学3～4年生 拾ヶ堰
- ・小学6年生 里山保存
- ・小学生 玉ねぎ収穫や行事
- ・中学1年生 湧き水の大切さ
- ・中学1年生 戦没者やそのお墓
- ・不明 貞享義民

○三郷地域

- ・小3、中1 道祖神
- ・小学4年生 拾ヶ堰
- ・小学6年生 貞享義民
- ・中学1年生 でいだらぼっち
- ・中学1年生 地域巡り

○穂高地域

- ・小学2年生 八面大王
- ・小学3年生 天蚕
- ・小学3～4年生 オオルリシジミ
- ・小学4年生 拾ヶ堰
- ・小学4年生 道祖神
- ・小4、中1 わさび栽培
- ・中学1年生 穂高神社のお囃子をやり、穂高神社の由来を知った
- ・中学生 碌山美術館

○堀金地域

- ・小学4～5年生 拾ヶ堰

○明科地域

- ・小学3年生 犀龍小太郎
- ・小学3年生 博物館の宝さがし部に参加し、市内各所の文化を学んだ
- ・小学6年生 倉科多策
- ・中学1年生 地域の歴史
- ・中学2年生 児童館横に戦没記念碑があること

4. 博物館等の体験講座への関心

■講座等への関心：関心が「ある」が61%。とくに関心が高いのが「体験教室」で60%。

■関心がない理由：「仕事や家事がいそがしい」が73%で多数。関心がないという回答も24%あり。

問D3	市内の博物館・美術館活動で行われている地域の歴史や文化を体験する講座等についてどの程度関心がありますか？		回答数	回答率(%)	
	※択一回答			※選択肢順	
1	大いにある	合計61.1%	13		13.7
2	多少ある		45		47.4
3	あまり関心はない	合計38.9%	36		37.9
4	関心はない		1		1.1
	合計		95		

問D5	問D3で「3あまり関心はない・4関心はない」とお答えの方にお聞きします。その理由を教えてください。		回答数	回答率(%)	
	※複数回答			※回答率順	
5	仕事や家事がいそがしい		27		73.0
3	関心がない		9		24.3
1	地域の情報が無い、知らない		8		21.6
6	金銭的負担がかかる		4		10.8
4	人間関係等がわずらわしい		3		8.1
2	地区に住み始めて日が浅い		1		2.7
7	その他		1		2.7
	問D3で3、4の合計		37		

問D4	問D3で「1大いにある・2多少ある」とお答えした方にお聞きします。お子さんと一緒に参加する場合、以下の講座のうちどれに関心がありますか？		回答数	回答率(%)	
	※複数回答			※回答率順	
1	地域の宝を活用した体験教室		35		60.3
3	地域の宝を活用したイベント		24		41.4
4	地域の宝を学べる講座・見学会など		23		39.7
2	地域の宝をめぐるウォーキングツアー		22		37.9
5	郷土博物館や資料館での企画展		22		37.9
6	文化財ボランティアの養成講座		6		10.3
7	その他		0		0.0
8	興味がない・特に参加するつもりはない		0		0.0
	問D3で1、2の合計		58		

IV. 文化財所有者・管理関係者のアンケート調査結果

IV-1 調査実施概要・回答者属性概要

文化財の保存活用の実態等に関するアンケート調査

【所有者・管理者対象：有形・無形に分けて用紙を作成】

所有者・管理関係者

○文化財の所有者・管理関係者約160名を対象とし、郵送で紙の調査票を発送。

○管理の実態を把握するとともに今後の保存と活用に関する意向や理想とする支援の内容等の把握を目的に実施。

○地域の宝物を未来に受け継ぐのための所有者向けの「アクション(取り組み)」を見出す基礎資料とする。

項目区分	質問内容
A 現状	1. 保存の現状と対策・公開状況 (文化財の保存状態/防犯・防災対策/公開状況/活用状況)
B 保存に関して	2. 保存に関する課題と今後
C 公開・活用に関して	3. 公開・活用に関する課題と今後
	4. 今後必要な取り組み(求める支援等)

■回収状況：有形文化財124件、無形文化財14件の回答が得られた（回収率約86%）。

■管理者の年齢層：60, 70代（有形）、50, 60代（無形）が中心。無形文化財の保存活用に関わる人数は様々。

問A 1	主に管理されている方や団体の年代(おおむねの平均)を教えてください ※択一回答	回答数	
		回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	10代以下	0	0.0
2	20代	0	0.0
3	30代	0	0.0
4	40代	3	2.4
5	50代	14	11.3
6	60代	45	36.3
7	70代	49	39.5
8	80歳以上	11	8.9
	無回答・無効	2	1.6
	合計	124	

【無形】

問A 2	主に保存管理に関わられている方々の人数を教えてください。 ※数字記入	回答数	
		回答数	回答率(%)
1	10人以下	3	27.3
2	11~30人	3	27.3
3	31~50人	3	27.3
4	51~100人	1	9.1
5	101人以上	1	9.1
	無回答・無効	3	27.3
	合計	14	

IV-2 調査分析結果

1. 保存の現状と対策・公開状況

■文化財の保存状態：有形文化財所有者の35%が「悪い・どちらかといえば悪い」と回答。

■防犯・防災対策（有形）：何も対策をしていないが28%。

■現在の公開状況：有形文化財で何らかの形で「公開」しているが74%。無形文化財は原則全部公開が86%。

【有形】

問A 2	現在管理されている文化財の保存状態についておききます。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	非常によい	13	10.5
2	どちらかといえばよい	54	43.5
3	どちらかといえば悪い	29	23.4
4	非常に悪い	15	12.1
5	その他	9	7.3
	無回答・無効	4	3.2
	合計	124	

問A 3	対象文化財の防犯・防災対策として行っている取り組みのうち、実施されているものを教えてください。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
5	施錠設備や侵入防止措置の実施	51	41.1
2	火災報知機・消火栓等の防火機器の設置	46	37.1
7	巡回・監視の実施	36	29.0
12	特に対策はしていない	35	28.2
3	防犯灯、防犯カメラ等の設置	24	19.4
8	定期的な防犯・防災訓練の実施	19	15.3
6	警察、消防署等との連携	18	14.5
1	管理台帳の作成・管理	18	14.5
10	災害発生時の緊急対応・行動計画のマニュアル化	15	12.1
9	注意喚起看板の設置	8	6.5
11	その他	4	3.2
4	建物の耐火、耐震・免振設備設置	4	3.2
	無回答	1	0.8
	合計	124	

【有形】

問A 4	対象文化財の一般向けの公開について、最も近いもの。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	原則常時公開	52	41.9
2	定期的、特定の日や時期に公開	16	12.9
3	問い合わせ等があれば公開	25	20.2
4	以前は公開していたが現在はしていない	1	0.8
5	公開はしていない	22	17.7
6	その他	6	4.8
	無回答・無効	2	1.6
	合計	124	

【無形】

問A 4	対象文化財を一般向け（氏子や関係者以外）に公開されていますか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
1	原則全部公開	12	85.7
2	一部を公開（特定の時間帯や行為）	2	14.3
3	以前は公開していたが現在はしていない	0	0.0
4	原則非公開	0	0.0
5	その他	0	0.0
	無回答・無効	0	0.0
	合計	14	

2. 保存に関する課題と今後

■保存に関する課題：有形では「維持管理の経費不足」が41%でトップ。無形では人材不足が課題の上位を占める。

■今後の保存意向：有形では「現状厳しいが保存意向はある」が36%。これと「現状で問題なし」、「対策を講じたい」を含めた保存意向は80%。無形では、14件すべてが継続の意向。ただし、これらのうち半数は「情勢に合わせた改変の上継続」の意向。

【保存に関する課題】

【有形】

問B 1	対象文化財の保存・継承をする上で、現在どのような課題に直面していますか。 ※複数回答	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
6	維持管理の経費が不足	51		41.1
8	保存に関する知識の不足	42		33.9
1	文化財そのものの老朽化が激しい	37		29.8
4	維持管理の手間を負担に感じる	35		28.2
3	防犯・防災の設備や体制が整っていない	31		25.0
9	市民の認知度の不足	23		18.5
5	維持管理の人員が不足	22		17.7
7	後継者の不在	22		17.7
11	特に課題はない	15		12.1
2	適切な保存場所が確保できていない	12		9.7
10	その他	7		5.6
	無回答	4		3.2
合計		124		

【無形】

問B 1	対象文化財の保存・継承をする上で、現在どのような課題に直面していますか。 ※複数回答	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
2	継承の受け継ぎ手(後輩)の不足	9		64.3
4	運営・実施のための人員不足	7		50.0
3	継承の指導者・教え手の不足	6		42.9
8	地域住民の認知度・理解の不足	5		35.7
1	対象文化財そのものへの知識や理解の不足	4		28.6
5	道具等の維持管理の手間の負担	4		28.6
6	経費が不足	4		28.6
7	保存に関する知識の不足	4		28.6
10	特に課題はない	3		21.4
9	その他	0		0.0
	無回答	0		0.0
合計		14		

【今後の保存への意向】

【有形】

問B 3	対象文化財を今後も継続して保存・継承することについて、どのようにお考えですか。 ※択一回答	回答数	回答率(%)	
			※選択肢順	
1	現在より何か対策を講じたい	25		20.2
2	現在の対策や保存方法で問題ない	30		24.2
3	現状は厳しいが、可能な限り対策や保存をする意向はある	44		35.5
4	可能であれば第三者に管理をお願いしたい	12		9.7
5	わからない	10		8.1
	無回答	2		1.6
合計		124		

【無形】

問B 3	対象文化財の今後の継承について。 ※択一回答	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
1	現在の体制や方法のまま継続したい	7		50.0
2	実施体制や方法の一部を情勢に合わせて改めながら継続したい	7		50.0
3	わからない	0		0.0
4	可能であれば第三者等に継続を委ねたい	0		0.0
5	その他	0		0.0
	無回答	0		0.0
合計		14		

3. 公開・活用に関する課題と今後

- 公開・活用に関する課題：有形では「破損の恐れ」が40%。無形では人員不足が57%。共に2位は「経費不足」。
- 今後の公開・活用意向：有形では約65%、無形では約79%の文化財で、公開・活用の持続もしくは拡大の意向がある。

【公開・活用に関する課題】

【有形】

問C 1	対象文化財の今後の公開・活用を考えていく場合の課題についてお聞きます。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
3	文化財の破損の恐れ	49	39.5
6	活用・公開にかかる経費の不足	36	29.0
7	活用方法の知識の不足	33	26.6
4	盗難の恐れ	31	25.0
5	活用するための人員不足	29	23.4
8	市民への発信・周知	23	18.5
12	特に課題はない	21	16.9
2	文化財そのものの老朽化が激しく、活用に向かない	18	14.5
9	交通の便が悪い	7	5.6
10	駐車スペースの不足	6	4.8
1	私有地内にあり活用が困難	4	3.2
11	その他	4	3.2
	無回答	5	4.0
	合計	124	

【無形】

問C 1	対象文化財の今後の公開・活用を考えていく場合の課題についてお聞きます。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
1	公開・活用のための人員不足	8	57.1
2	活用・公開にかかる経費の不足	5	35.7
6	特に課題はない	4	28.6
3	効果・活用方法の知識の不足	2	14.3
5	その他	2	14.3
4	祭事等の内容の変容の恐れ	1	7.1
	無回答	0	0.0
	合計	14	

【今後の公開・活用への意向】

【有形】

問C 2	対象文化財の公開・活用について、お考えに最も近いもの。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	さらに公開・活用の幅を広げたい	2	1.6
2	現在と変わらず公開・活用していく予定	71	57.3
3	公開・活用の意向はある	8	6.5
4	公開・活用の幅を狭めたい	3	2.4
5	公開・活用する意向はない	21	16.9
6	わからない	14	11.3
	無回答・無効	5	4.0
	合計	124	

【無形】

問C 2	対象文化財の公開・活用について、お考えに最も近いもの。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	さらに公開・活用の幅を広げたい	2	14.3
2	現在と変わらず公開・活用していく予定	9	64.3
3	新たに公開・活用の意向を考えたい	0	0.0
4	公開・活用の幅を狭めたい	0	0.0
5	公開・活用する意向はない	1	7.1
6	わからない	2	14.3
	無回答・無効	0	0.0
	合計	14	

4. 今後必要な取り組み(支援措置等)

■保存・継承：有形では経費支援、技術的助言、価値の解説、無形では住民による手助け、経費支援、理解促進

■公開・活用：有形では住民理解、経費支援、市民向け発信、無形では住民理解、地域学習への反映、経費支援

【保存・継承】 【有形】

問B 2	今後、対象文化財を保存・継承する上で、次のうちどのようなことが必要だと思いますか。 ※複数回答	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
3	経費の補助	69		55.6
1	専門家からの技術的助言	53		42.7
2	専門家からの価値の解説	46		37.1
9	防犯・防災対策	36		29.0
7	認知度の向上	29		23.4
4	地域住民による手助け	28		22.6
5	ボランティアによる手助け	12		9.7
6	維持管理の簡易化	9		7.3
10	その他	8		6.5
8	記録の作成	8		6.5
	無回答	4		3.2
合計		124		

【無形】

問B 2	今後、対象文化財を保存・継承する上で、次のうちどのようなことが必要だと思いますか。 ※複数回答(3つまで)	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
2	地域住民による手助け・支援	9		64.3
8	保存継承に必要な取り組みへの経費の支援	9		64.3
1	地域住民の対象文化財への理解の促進	4		28.6
6	実施・運営方法の簡素化	3		21.4
3	地域外への周知・発信	1		7.1
4	地域外の理解者の増加	1		7.1
5	地域外の協力者・ボランティアによる手助け・支援	1		7.1
9	その他	1		7.1
7	経過やノウハウの記録と伝承のしくみづくり	0		0.0
	無回答	0		0.0
合計		14		

【公開・活用】 【有形】

問C 5	今後、対象文化財の公開・活用を進めていくにあたりどのような支援が必要だと思いますか。 ※複数回答(2つまで)	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
3	地域住民の理解と協力	31		25.0
6	公開・活用に必要な取り組みへの経費の支援	29		23.4
1	博物館等による体験・学習機会の確保や市民向けの発信・周知	23		18.5
2	学校での地域学習内容への反映(学校側での活用)	20		16.1
7	専門家等のアドバイス	20		16.1
5	地域外の協力者・団体・ボランティア等による手助けや支援を得られるしくみ	8		6.5
8	その他	4		3.2
4	地域外の理解者の確保(支援者登録のようなしくみづくり)	2		1.6
	無回答・無効	5		4.0
合計		124		

【無形】

問C 5	今後、対象文化財の公開や活用を進めていくうえで必要な支援として、お考えに最も近いもの。 ※複数回答(2つまで)	回答数	回答率(%)	
			※回答率順	
3	地域住民の理解と協力	7		50.0
2	子供たちの学校での地域学習内容への反映(学校側での活用)	4		28.6
6	公開・活用に必要な取り組みへの経費の支援	4		28.6
4	地域外の理解者の確保(支援者登録のようなしくみづくり)	1		7.1
5	地域外の協力者・団体・ボランティア等による手助けや支援を得られるしくみ	1		7.1
8	その他	1		7.1
1	博物館等による体験・学習機会の確保や市民向けの発信・周知	0		0.0
7	専門家等のアドバイス	0		0.0
	無回答・無効	0		0.0
合計		14		